

スクールソーシャルワーク研究会しが 12月研修会のお知らせ

「子どもとの対話を広げていくために」

～トラウマセンシティブスクール(TSS)って何？～

主催 スクールソーシャルワーク研究会しが

2025年 12月 6日(土)

◇時間 13:30～16:00

◇場所 県立男女共同参画センター G-NETしが(研修室A)
(近江八幡市鷹飼町80-4 TEL.0748-37-3751)

☞ワークショップ「RJサークル(修復的対話)」

今回も前半は、参加者の近況の交流や現場からの話題提供を兼ねた「RJ」サークルの形式ですすめます。

☞ワークショップ 子どもの「声」を大切にするために⑥

トラウマセンシティブスクール(TSS)って何？

教育の現場や子どもの支援にかかわる人々が、心の傷(トラウマ)に関する知識を身につけ、子どもに何が起きているのかを理解することで、教育や支援のあり方にどのような変化が起こり得るのか、参加者の皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

話題提供・コーディネーター 池田華子さん(大阪公立大学)

近年、子どもと関わる際に、彼らが様々な困難な出来事を体験して心の傷(トラウマ)を抱えている可能性を考えながら子どもへの指導・支援をしていくことが、すべての子どもにとってやさしい学校につながっていくという考えから、トラウマに配慮する学校づくりの取り組みが注目されるようになってきています。学校を安心・安全な場所にするための取り組みであるという点では、この研究会で継続的に取り組んできている修復的対話の実践とも共通する部分の大きい考え方です。

自分の弱さや抱えている傷を認めて、適切に不快感や苦痛を訴えることよりも、弱さにくじけず前向きに生きることばかりが賞賛されたり、些細なきっかけで非難と排除、暴力の応酬へと転じてしまうような場所では、自分の困りごとを他者に伝えることすら難しい子どもたちの傷は、ますます深くなってしまいうでしょう。

教師や支援者が心の傷(トラウマ)に関する知識を身につけ、子どもに何が起きているのかを理解することで、教育や支援のあり方にどのような変化が起こり得るのか、参加者の皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

そのうえで、自分のことを話すことが、いかに人をエンパワメントすることにつながるか、参加者自身の身近な体験もふまえつつ、考えることができればと思います。

修復的対話(Restorative Justice)とは ...

いじめなど人間関係におけるトラブルを対立や排除という方法ではなく、トラブルによって影響を受けた者が一同に会し、対話によって平和的に問題を解決すると同時に、トラブルの予防をも含んだプロセスです。

そこでの約束事は、

- ① お互いを尊重する ② 話をよく聞く
 - ③ 相手を非難しない ④ 話せない、話したくないときはパスしてもよい
- であり、すべての過程で「人間尊重」を基本的な価値としています。(上からの強制ではなく、当事者ひとり一人の自主性と問題解決能力で予防・解決をめざします。)

+++++

◇参加費 会員 500円
 (「SSW研究会しが」2024年度・2025 年度会員登録済みの方)
 一般 700円

◇参加の申し込み方法

お名前・所属・住所・連絡先を記載して
ホームページ・FAXでお申し込みください。

- ① ホームページ <https://kancyan-house.com>
 (「お問い合わせ」or「スクールソーシャルワーク研究会しが」のサイトを
 ご利用ください。)
- ② FAXの場合 FAX 番号:0748-46-3283

◇問い合わせ等

問い合わせ先 090-3708-3315
 (スクールソーシャルワーク研究会しが 事務局:佐子)

